

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公開番号】特開 2001-210007 (P2001-210007A)  
 【公開日】平成 13 年 8 月 3 日 (2001.8.3)  
 【出願番号】特願 2000-17913 (P2000-17913)  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/10 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/06 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/10 A

G 0 6 F 3/06 3 0 1 W

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】発明の名称  
 【補正方法】変更

【補正の内容】  
 【発明の名称】記録再生装置

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ディスクから読み出されたオーディオデータである非圧縮データを記憶媒体に記録する記録手段と、

上記記憶媒体からデータを読み出す読み出し手段と、

上記非圧縮データを上記記録手段が上記記憶媒体に記録しているときに、上記読み出し手段により読み出された上記記憶媒体に記録されたデータを再生する再生手段と、

上記読み出し手段が読み出した上記非圧縮データを圧縮して圧縮データを生成する圧縮手段と、

上記記録手段が上記記憶媒体に上記圧縮データを記録するよう制御する制御手段と  
 を備える記録再生装置。

【請求項 2】 上記制御手段は、上記圧縮データが上記記憶媒体に記憶されたときには、上記非圧縮データを所定のデータ量ごとに消去することを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 3】 上記圧縮手段は、上記非圧縮データを圧縮して M P E G データを生成することを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 4】 上記圧縮手段は、上記非圧縮データを圧縮して A T R A C データを生成することを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 5】 上記圧縮データを暗号化する暗号化手段をさらに有し、  
上記制御手段は、上記記録手段が上記記憶媒体に上記暗号化手段が暗号化した圧縮データを記録するよう制御することを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 6】 上記再生手段は、上記記録媒体に記録された上記圧縮データを再生することを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、例えばオーディオデータおよび／またはビデオデータの記録再生装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

したがって、この発明の目的は、データの圧縮・暗号化の処理性能によらず、高速記録を可能とし、また、データの圧縮・暗号化を行って記録すると同時に、保存されている異なるデータを再生することが可能な記録再生装置を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するために、請求項1の発明は、ディスクから読み出されたオーディオデータである非圧縮データを記憶媒体に記録する記録手段と、

記憶媒体からデータを読み出す読み出し手段と、

非圧縮データを記録手段が記憶媒体に記録しているときに、読み出し手段により読み出された記憶媒体に記録されたデータを再生する再生手段と、

読み出し手段が読み出した非圧縮データを圧縮して圧縮データを生成する圧縮手段と、

記録手段が記憶媒体に圧縮データを記録するよう制御する制御手段と

を備える記録再生装置である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】